

令和6年度第2回香芝市都市経営市民会議 議事概要

- ◆開催日時 令和6年10月18日（金）午前10時から正午まで
- ◆開催場所 香芝市役所庁舎3階 第1会議室
- ◆出席者 中川会長、吉村副会長、沖本委員、加藤委員、永渕委員、平井委員、船木委員、吉村委員（計8名）
- ◆事務局 企画部：仲部長
企画政策課：山内課長、大西主幹、浅田主査、南浦主任、神村主事、堀内主事
株式会社ブレインファーム 相見、竹平
- ◆議題 (1) 第5次香芝市総合計画（中期基本計画及び（仮）香芝市デジタル田園都市構想総合戦略）の策定について
(2) まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の効果検証について

-
- (1) 第5次香芝市総合計画（中期基本計画及び（仮）香芝市デジタル田園都市構想総合戦略）の策定について

【委員意見等】

- ・資料6「地域幸福度指標（個別調査）の結果報告について」について、主観指標の偏差値が高く、客観指標の偏差値が低い項目については、将来的には主観指標も低下していく恐れがあると考えられるため、対策を検討すべき。
- ・施策8「健康づくりの推進」の実施する主な事業「地域医療体制の充実に関する事業」において、活動指標として「連携会議数」が挙げられているが、会議数が成果に影響を与えるという因果関係は成り立たないのではないかと。
- ・施策4「学校教育の充実」の実施する主な事業「小学校施設維持管理事業」及び「中学校施設維持管理事業」について、ICT教育が教員へ普及し、実際に教育にいかされるよう、施策横断的に連携を取っていくことが重要である。
- ・市民アンケート等において、回答者の意図が判別できない設問があるため、今後アンケートを工夫してはどうか。
- ・SNS等については、今後普及するSNS等が入れ替わる可能性もあるため、その旨を注釈で補足しておく方がよい。
- ・市で不足する部分については全てを市独自で賄う必要はないと考えるため、近隣自治体を始めとして広域連携も視野に入れ、市民にとって不利益がない状態を目指してい

ただきたい。

- ・インターネットやＳＮＳ等を通じて、市に関する情報発信を活発にされているが、広報紙の有意性についても、ご認識いただきたい。
- ・地域の防災主体として、中学生による防災クラブや女性防災リーダーの役割も重要であると考えため、計画への記載を検討いただきたい。また、これらの地域の主体同士を行政で取りまとめるのは困難であると考えため、市内の防災士と連携を図ってどうか。
- ・モナミホールの跡地利用について、今後の予定があれば、総合計画に記載いただきたい。また、施設の建設や整備については、利用者の要望等踏まえて、検討されたい。
- ・指標を計測するためにアンケート実施などが必要で、かつ、コストがかかるものは極力避け、既存の仕組みにより把握できる実績数値を優先的に採用すべき。
- ・成果指標については、外部要因の影響度合いが高く、成果指標に向かないものや成果指標ではなく活動指標と思われるものが設定されている施策が見受けられるので、改めて精査いただきたい。

(2) まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の効果検証について

【委員意見なし】

以 上